

【報道関係各位】

会社員の夏休み・秋の連休に関する調査

- 会社員の夏休み、約 5 割が「お盆」に取得。取得日数は「5 日以下」が 7 割。
- 夏休みの過ごし方は、「家で過ごす」が 1 位。理由は「ゆっくり日頃の疲れを癒したい」
- 秋の連休の平均予算は 1 人あたり「約 3 万 5000 円」で、夏休みよりも 5000 円低い予算。
- 旅行・レジャー費を捻出するために節約・工夫をしている人は、65%

2009 年 7 月 30 日
株式会社マクロミル
(証券コード: 東証一部 3730)

インターネット調査会社の株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表：杉本哲哉）は、全国の 20～59 才の会社員・公務員の男女を対象に、「会社員の夏休み・秋の連休に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間 2009 年 7 月 16 日（木）～7 月 17 日（金）。有効回答数は 516 名から得られました。

【調査結果概要】

【1】夏休みについて

■会社員の夏休み、約 5 割が「お盆」に取得。取得日数は「5 日以下」が 7 割。

全国の会社員（公務員含む）に夏期休暇の取得時期を尋ねたところ、「お盆中（8/13～8/16）」が 48% で最多となりました。夏期休暇の取得日数は、「5 日以下」が主流で 69% となっています。

■過ごし方: 1 位「家で過ごす」39%、2 位「国内旅行」31%、3 位「日帰りのレジャー」27%

家で過ごす理由は、「ゆっくり日頃の疲れを癒したいから」

夏期休暇の過ごし方について尋ねたところ、「家で過ごす」が 39% で最も高く、次いで「国内旅行」31%、「日帰りのレジャー」27%、「ショッピング」25%、「帰省」23% となっています。

家で過ごす理由は、「ゆっくり日頃の疲れを癒したいから」が最多で約 6 割、「お金がない・節約のため」「お盆は混雑するので出かけたくない」も 5 割超となりました。

■昨年に比べて、予算を「減らす」人は約 3 割。その理由は「夏のボーナスが減ったから(63%)」

夏期休暇にかかる 1 人あたりの予算を尋ねたところ、平均で 39,632 円となりました。また、昨年に比べて夏期休暇にかかる予算に変化があるか尋ねると、29% が「予算を減らす」と回答しています。その理由は「夏のボーナスが減ったから（63%）」で最も高く、次いで「節約のため（54%）」となっています。会社員の夏休みは、体とお財布にやさしい過ごし方が人気のようです。

【2】9 月の大型連休について

■1 人あたりの平均予算は、約 3 万 5000 円(34,926 円)。

過ごし方: 1 位「家で過ごす」37%、2 位「日帰りのレジャー」31%、3 位「国内旅行」29%

9 月の大型連休にかかる予算を尋ねたところ、平均金額は 34,926 円で夏期休暇の予算よりも約 5000 円低い結果となりました。また、過ごし方は、「家で過ごす」が 37% で最多、次いで「日帰りのレジャー」31%、「国内旅行」29%、「ショッピング」27% となっています。

【3】旅行・レジャーの費用について

■旅行・レジャー費を捻出するために、節約・工夫をしている人は、65%

旅行・レジャーの「予算を捻出するため」に節約や工夫をしている人は 65% でした。また、「旅行・レジャー費を安く抑えるため」の工夫を尋ねたところ、「旅行代理店の案内・ネット等で安い旅行プランを探す」が 43% で最も多く、次いで「高速道路新 ETC 割引制度を利用して、車で移動する」が 39%、「お弁当などを持参して食費を抑える」が 35% となりました。

「会社員の夏休み・秋の連休に関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

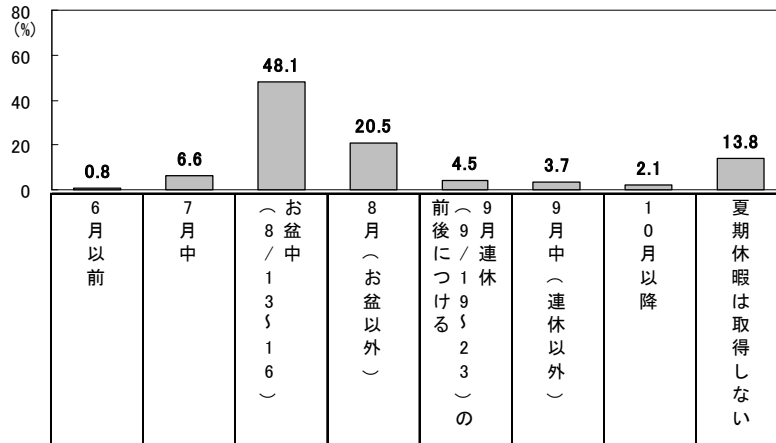
調査方法：	インターネットリサーチ				
調査地域：	全国				
調査対象：	20才以上 59才以下の会社員（公務員含む）（マクロミルモニタ会員）				
有効回答数：	20代	30代	40代	50代	合計
	129s	129s	129s	129s	516s
調査日時：	2009年7月16日（木）～7月17日（金）				
調査機関：	株式会社マクロミル				

I. 夏休みについて

■夏休みの取得時期は、「お盆中（8/13～8/16）」が48%で最多。

全国の会社員に、夏期休暇の取得時期について尋ねたところ、「お盆中（8/13～8/16）」が48%で最多となりました。次いで「8月（お盆以外）」が21%となっており、8月中に取得する人が約7割となっています。（図1）

【図1】夏期休暇の取得時期（単一回答）
Q.あなたは、今年の夏期休暇をいつごろ取得しますか。

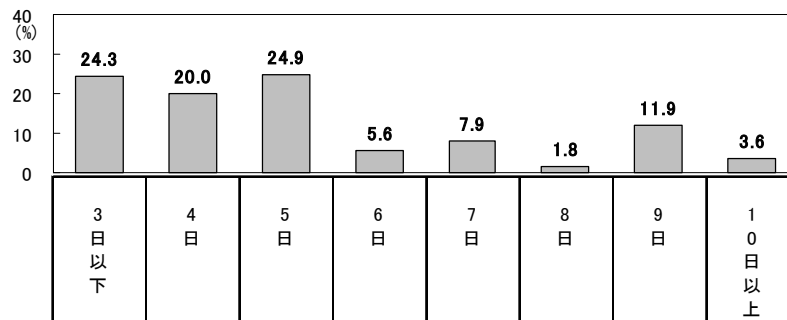


■夏休みの日数は、「5日以下」が7割。

「5日間」が25%、「3日以下」が24%、次いで「4日間」が20%

夏期休暇をどれくらいの期間取得するか尋ねたところ、「5日間」が25%、「3日以下」が24%と二分する結果となっており、次いで「4日間」が20%となっています。取得日数が「5日以下」を合計すると7割となり、バカンスと呼べるような長期休暇を楽しむ人は少数のようです。（図2）

【図2】夏期休暇の取得日数（単一回答）
＜ベース：夏期休暇を取得する（した）人＞
Q.あなたは、夏期休暇をどれくらいの期間取得する予定ですか。もしくは、取得しましたか。
※夏期休暇に土日が含まれる場合は、その日数も含めてお知らせください。



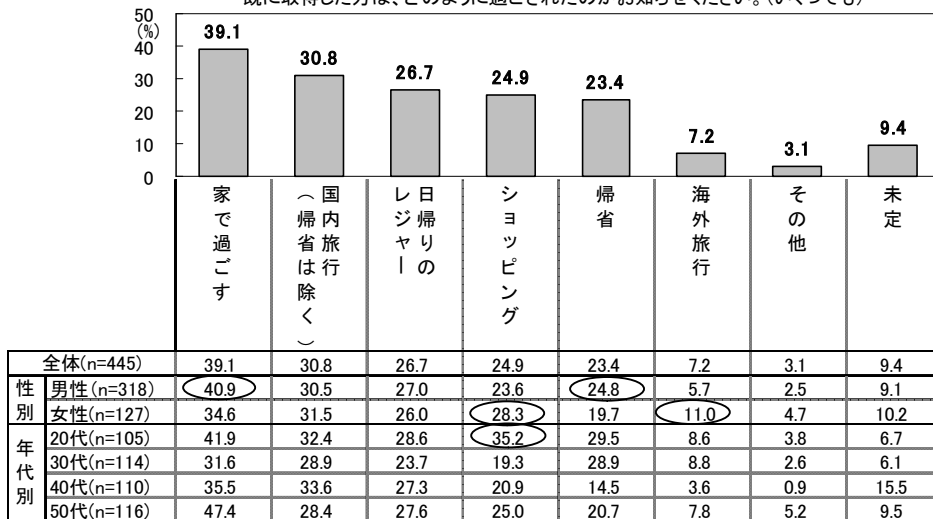
■夏休みの過ごし方、1位「家で過ごす (39%)」
2位「国内旅行 (31%)」、3位「日帰りのレジャー (27%)」

夏期休暇の過ごし方について尋ねたところ、「家で過ごす」が39%で最も高く、次いで「国内旅行」31%、「日帰りのレジャー」27%、「ショッピング」25%、「帰省」23%となりました。

男女別にみると、男性は「家で過ごす」「帰省」、女性は「ショッピング」「海外旅行」が各々約5ポイント高くなっています。年代別にみると、20代で「ショッピング」が35%と30代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。(図3)

【図3】夏期休暇の過ごし方(複数回答)
＜ベース:夏期休暇を取得する(した)人＞

Q.あなたの、夏期休暇中の過ごし方の予定をお知らせください。
既に取得した方は、どのように過ごされたのかお知らせください。(いくつでも)



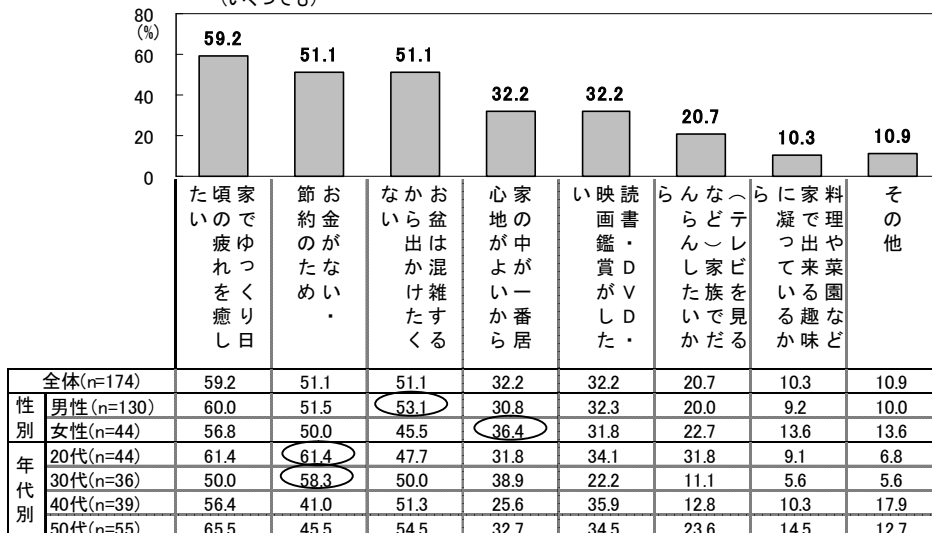
■家で過ごす理由は、「ゆっくり日頃の疲れを癒したい」が約6割、
「お金がない・節約のため」「お盆は混雑するから出かけたくない」も5割超。

夏期休暇を家で過ごす人にその理由を尋ねたところ、「家でゆっくり日頃の疲れを癒したい」が59%で最も高く、次いで「お金がない・節約のため」「お盆は混雑するから出かけたくない」が各々51%となりました。

男女別にみると、男性は「お盆は混雑するから出かけたくない」、女性は「家の中が一番居心地がよいから」がそれぞれ高くなっています。年代別にみると、20~30代で「お金がない・節約のため」が60%前後と40代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。(図4)

【図4】夏期休暇を家で過ごす理由(複数回答)
＜ベース:夏期休暇を家で過ごす(した)人＞

Q.あなたが、夏期休暇を「家で過ごす」理由で、あてはまるものをお知らせください。(いくつでも)



■夏休みの平均予算は、約4万円（39,632円）

夏期休暇にかける予算について尋ねたところ、平均金額は「39,632円」となりました。予算の分布を見ると「1万円以上3万円未満」と回答した人が32%で最多、次いで「3万円以上5万円未満」「5万円以上10万円未満」が15%となっています。

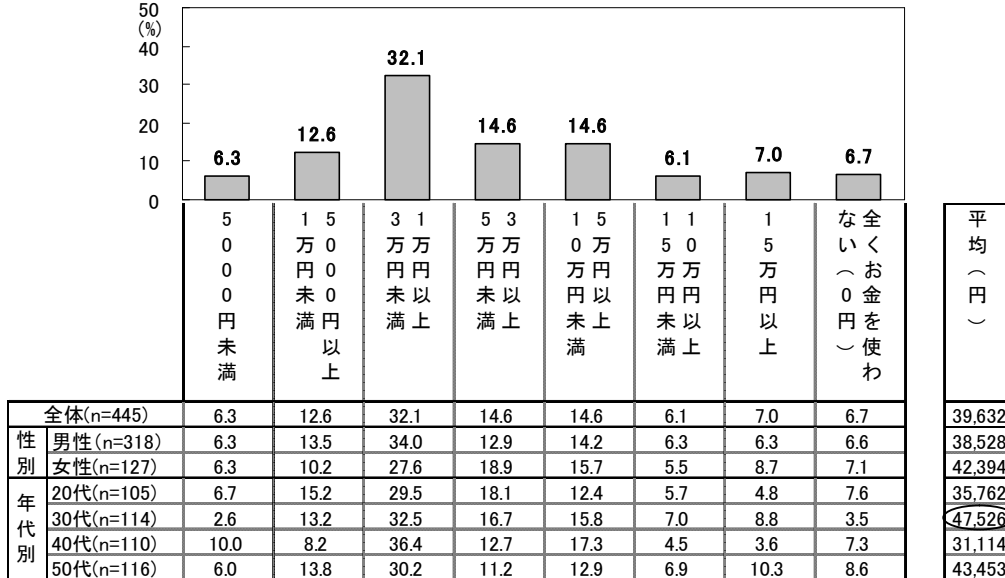
年代別にみると、平均金額は30代で47,526円と他の年代に比べ最も高くなっています。（図5）

【図5】夏期休暇の予算（自由回答→単一回答）

<ベース：夏期休暇を取得する予定（した）人>

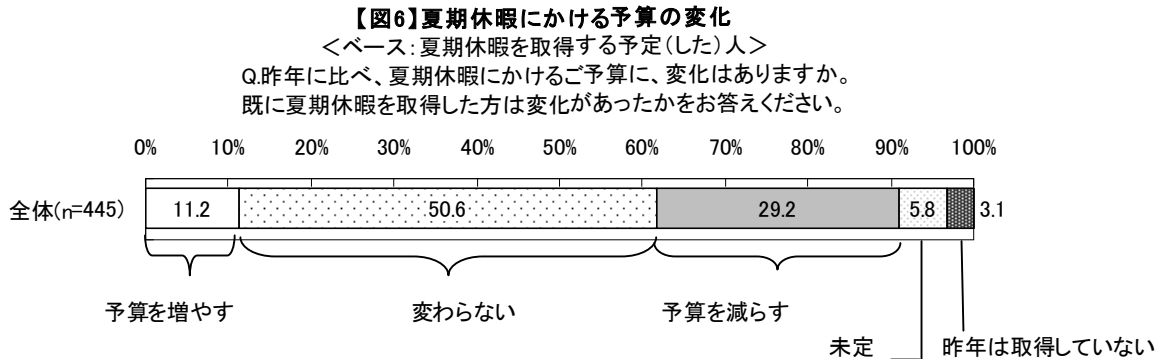
Q.夏期休暇にかける（既にかけた）ご予算をお知らせください。

※ご家族をお持ちの方は、家族一人当たりの平均予算をお知らせください。

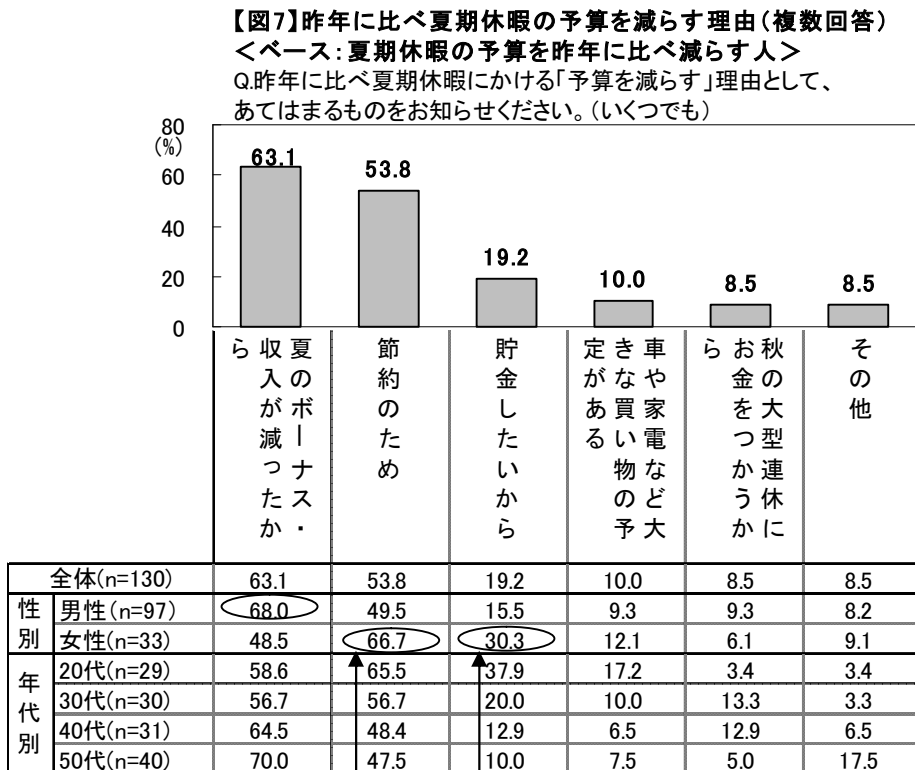


■昨年と比べ、夏休みの予算を「減らす」人は約3割。
その理由は、「夏のボーナスが減ったから（63%）」

昨年と比べ、夏期休暇にかかる予算に変化があるかどうか尋ねたところ、約3割が「予算を減らす」と回答しています。（図6）



夏期休暇にかかる予算を減らすと回答した人に、その理由を尋ねると「夏のボーナスが減ったから」が63%で最も高く、次いで「節約のため」が54%となりました。
 男女別にみると、男性は女性に比べ「夏のボーナスが減ったから」が、女性は男性に比べ「節約のため」「貯金したいから」が高くなっています。
 年代別にみると、若年層ほど「節約のため」「貯金したいから」が高くなっています。（図7）



II. 9月の大型連休について

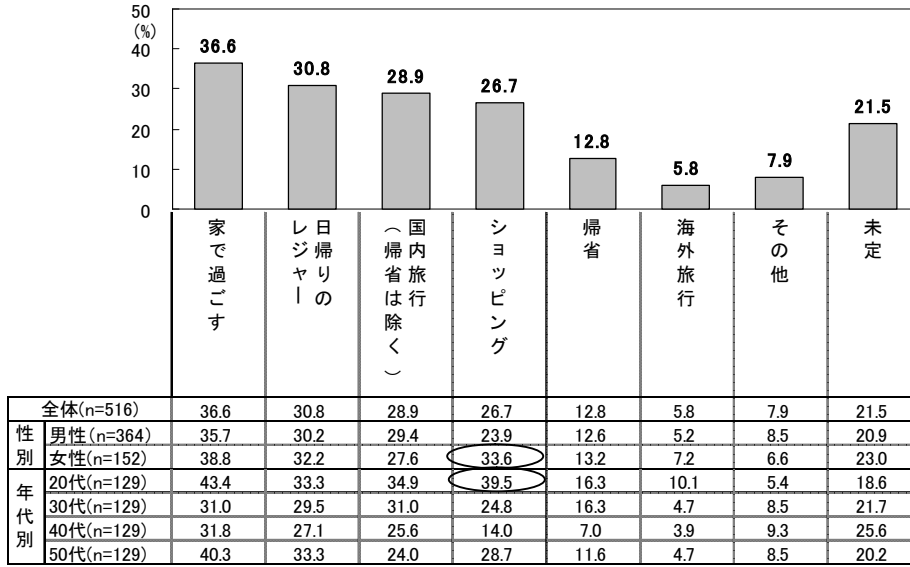
■ 9月の大型連休の過ごし方、1位「家で過ごす (37%)」 2位「日帰りのレジャー (31%)」、3位「国内旅行 (29%)」

9/19 (土) ~9/23 (水・祝) の大型連休 (シルバーウィーク) の過ごし方について尋ねたところ、「家で過ごす」が37%で最も高く、次いで「日帰りのレジャー」31%、「国内旅行」29%、「ショッピング」27%となっています。

男女別にみると、女性は「ショッピング」が34%と男性に比べ10ポイント高くなっています。年代別にみると、20代で「ショッピング」が40%と30代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。(図8)

【図8】9月の大型連休(シルバーウィーク)の過ごし方(複数回答)

Q.9月の大型連休(シルバーウィーク)を、どのように過ごす予定ですか。(いくつでも)
※夏季休暇も同時期に取得する方はその予定も含めてお答えください。



■家で過ごす理由は、「ゆっくり日頃の疲れを癒したい」が65%で最多。

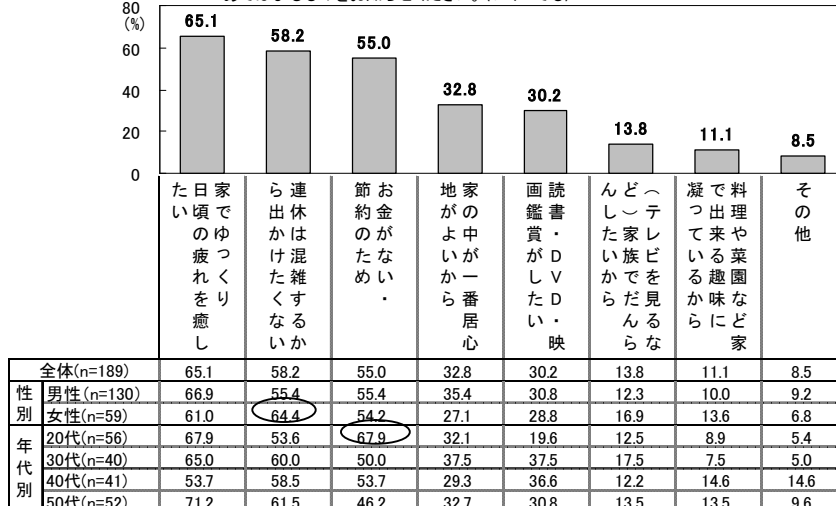
9月の大型連休を家で過ごす人にその理由について尋ねたところ、「家でゆっくり日頃の疲れを癒したい」が65%で最も高く、次いで「連休は混雑するから出かけたくない」58%、「お金がない・節約のため」55%となっています。

男女別にみると、女性は「連休は混雑するから出かけたくない」が64%と男性に比べ9ポイント高くなっています。年代別にみると、20代では「お金がない・節約のため」が68%と30代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。(図9)

【図9】9月の大型連休を家で過ごす理由(複数回答)

<ベース:9月の大型連休を家で過ごす予定の人>

Q.あなたが、9月の大型連休(シルバーウィーク)を「家で過ごす」理由で、あてはまるものをお知らせください。(いくつでも)



■ 9月の大型連休の平均予算は、約3万5000円（34,926円）

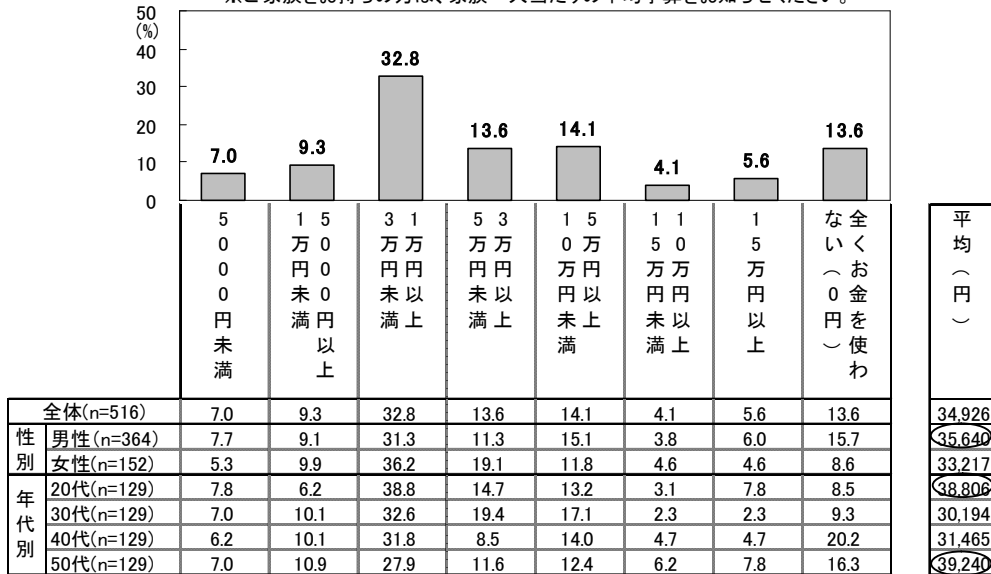
9月の大型連休にかかる予算について尋ねたところ、平均金額は34,926円となりました。予算の分布を見ると、「1万円以上3万円未満」と回答した人は33%、次いで「5万円以上10万円未満」が14%となっています。

男女別にみると、男性の平均金額は35,640円と女性に比べ約2,400円高くなっています。

年代別にみると、平均金額は50代で39,240円、20代で38,806円と30～40代に比べ高くなっています。（図10）

【図10】9月の大型連休の予算（自由回答→単一回答）

Q.9月の大型連休（シルバーウィーク）にかけるご予算をお知らせください。
※ご家族をお持ちの方は、家族一人当たりの平均予算をお知らせください。

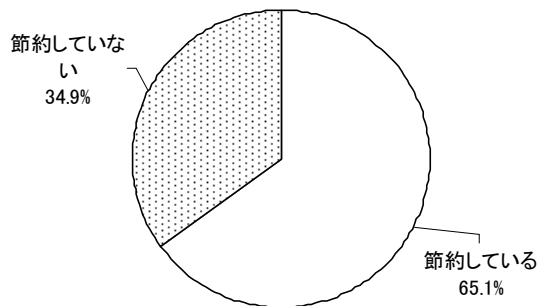


Ⅲ. 旅行・レジャーの費用について

■旅行・レジャー費を捻出するために、節約や工夫をする人は65%

旅行・帰省、日帰りレジャーに行く人に旅行やレジャーの予算を捻出するために、普段の生活で節約や工夫をしているか尋ねたところ、65%の人が「節約している」と回答しました。(図11)

【図11】旅行・レジャーの予算を捻出するために、
普段の生活で節約や工夫をしているか
<ベース:夏期休暇もしくは9月の大型連休に
旅行、帰省、日帰りレジャーに行く予定の人>
Q.あなたは旅行・レジャーの予算を捻出するために、
普段の生活で節約や工夫をしていますか。



■節約や工夫の方法は、「外食を控える」「エアコンを使わない」など、さまざま。

旅行・レジャーの予算を捻出するための、普段の生活における節約や工夫を自由回答で伺いました。具体的な意見を一部抜粋します。(図12)

【図12】旅行・レジャーの予算を捻出するための、普段の生活でしている節約や工夫(抜粋)

Q.夏期休暇(帰省含む)または旅行・レジャーの予算を捻出するために、普段の生活でしている節約や工夫を具体的に教えてください。

回答内容	性別	年齢
食費の節約		
水筒を持ち歩き、飲み物を外で買わないようにしている。	男性	32
昼食は会社に弁当を持参し、飲み物もコンビニで103円で売っている1L入りのウーロン茶1本でまかなう。	男性	37
酒のランクを落とした。	男性	43
お弁当を毎日持っていく。外食しない。飲み物はペットボトルにつめて持っていく	女性	30
タバコ、お酒の量を減らす	男性	51
外食の回数を減らしている	男性	51
できるだけ自炊。飲みにくい回数を減らす	男性	25
ランチでは低価格のものを選ぶ	男性	30
光熱費の節約		
エアコンはつけない、コンセントを抜く、洗濯をまとめてする、一番低い温度に給湯器を設定するなど。	男性	31
ガス給湯器を使わない。風呂を減らしてシャワーの頻度を上げる。料理のお湯は電気で沸かす。圧力鍋の活用。	男性	46
光熱費を下げる為、エアコンをなるべく使用しない。	女性	31
貯金		
『〇〇をしたら1000円』と決めて、その貯まったお金で旅行などの費用に充てている	女性	22
500円玉貯金	男性	27
毎月のお給料から、旅行費用の為に1万円ずつ貯金している。	女性	42
旅行・レジャー用に貯蓄をしている	女性	32
その他		
安く購入できる店を探す	男性	49
家計簿にて予算管理を行っている	男性	39
支払いをクレジットカードにし、ポイントをためて旅行券に換えて旅費の足しにしている	女性	28
買うものを最低限にし、普段の外出を控えている	男性	29
ETCの利用。近場での余暇	男性	40
コンビニにはなるべく入らない。	男性	27
何か買うときは一日はさんで考える。セール以外で洋服などは買わない。	女性	29

- 旅行・レジャー費を安く抑えるために、
 「旅行代理店の案内・ネット等で安い旅行プランを探す」43%
 「高速道路新ETC割引制度を利用して、車で移動する」39%
 「お弁当などを持参して食費を抑える」35%

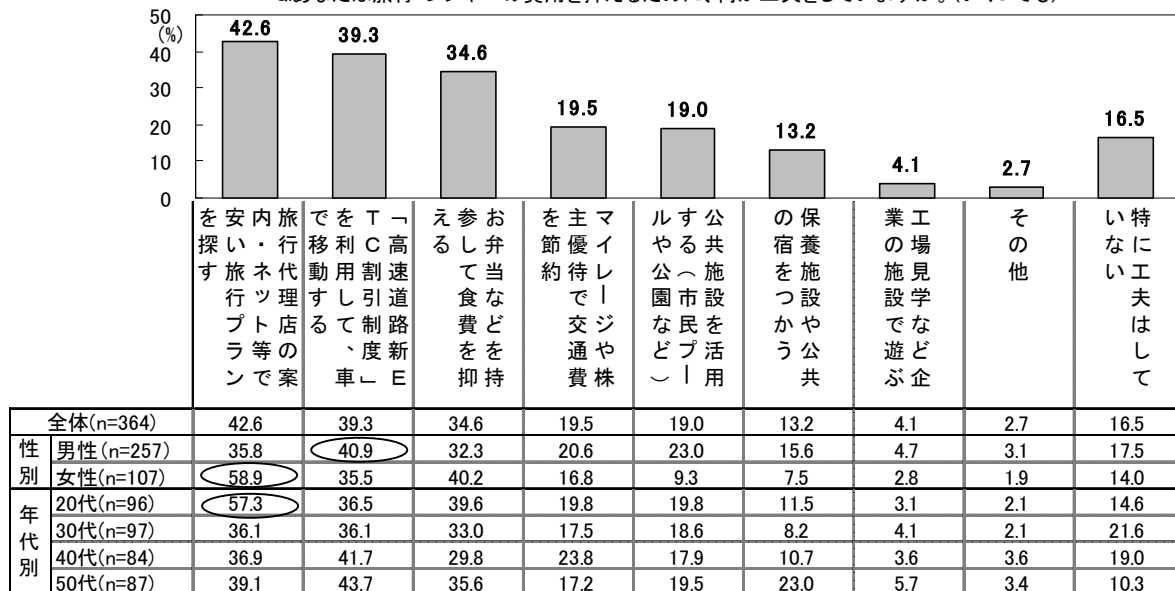
国内旅行・帰省・レジャーに行く人に、旅行・レジャー費用を抑えるために何か工夫をしているか尋ねたところ、「旅行代理店の案内・ネット等で安い旅行プランを探す」が43%で最も高く、次いで「高速道路新ETC割引制度を利用して、車で移動する」39%、「お弁当などを持参して食費を抑える」35%となりました。

男女別にみると、男性では「高速道路新ETC割引制度を利用して、車で移動する」が41%で、女性では「旅行代理店の案内・ネット等で安い旅行プランを探す」が59%で各々最も高くなっています。

年代別にみると、20代では「旅行代理店の案内・ネット等で安い旅行プランを探す」が57%と30代以上に比べ約20ポイント高くなっています。(図13)

【図13】旅行・レジャーの費用を抑えるための工夫(複数回答)

<ベース: 夏期休暇もしくは9月の大型連休に旅行、帰省、日帰りレジャーに行く予定の人>
 Q.あなたは旅行・レジャーの費用を抑えるために、何か工夫をしていますか。(いくつでも)



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 85 万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000年1月31日
資本金 ■9億3,035万円 ※2008年9月末現在
上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
従業員数 ■299名 ※2009年6月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：大野
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」